

平成25年度
第1回
菊池市議会報告会報告書



平成25年11月

菊池市議会

I 開催状況

より開かれた議会を目指すと同時に、議会の役割を果たすため、また、地域の課題や要望等を市民から直接聞いて、今後の議会活動に生かすため市内4箇所で初めて開催した。

最初に、本年3月及び6月議会定例会での各常任委員会審査報告を行ない、その後、市民から質疑応答及び意見交換を行った。

(1) 開催日時等

1 旭志会場

日 時：平成25年8月26日（月）19:00～20:55

場 所：旭志公民館 大研修室

参加者：25名

2 七城会場

日 時：平成25年8月27日（火）19:00～20:20

場 所：七城公民館 講堂

参加者：19名

3 菊池会場

日 時：平成25年8月29日（木）19:00～20:50

場 所：菊池市文化会館 小ホール

参加者：95名

4 泗水会場

日 時：平成25年8月30日（金）19:00～20:50

場 所：泗水ホール

参加者：52名

(2) 次 第

1 開 会

2 あいさつ

山瀬義也議長

3 報 告

議会運営委員会

水上彰澄委員長

総務文教常任委員会

東 英俊委員長

福祉厚生常任委員会

葛原勇次郎委員長

経済建設常任委員会

泉田栄一朗委員長

4 質疑応答及び意見交換

5 お礼の言葉

隈部忠宗副議長

6 閉 会

(3) 当日の役割分担

8月26日 司 会 中山繁雄議員
記 録 岡崎俊裕議員・工藤圭一郎議員
写 真 木下雄二議員

8月27日 司 会 坂井正次議員
記 録 工藤圭一郎議員・岡崎俊裕議員
写 真 木下雄二議員

8月29日 司 会 樋口正博議員
記 録 大賀慶一議員・怒留湯健蓉議員
写 真 木下雄二議員・工藤圭一郎議員

8月30日 司 会 森 清孝議員
記 録 怒留湯健蓉議員・大賀慶一議員
写 真 木下雄二議員・工藤圭一郎議員

※会場設営、受付、会場係、後片付け ー 全議員

Ⅱ 質疑応答及び意見交換

当日会場から出されたご質問、ご意見、ご要望を掲載します。

掲載については、出された項目を所管する各常任委員会及び特別委員会別に掲載しています。

報告会当日回答しました、案件につきましては掲載していません。

なお、市に対するご意見、ご要望については、執行部の回答を掲載していません。

【議会運営委員会関係】

1. 議会報告会の時間が全体的に短いと思います。

(回答)

今後検討します。

2. 市長の政策は素晴らしいと思いますが、戦略は立派でもそのあとの戦術と工程がはつきりしません。絵に描いたもちにならないためにも、その点を議員はどう考えますか。

(回答)

是は是、非は非として、議会の役割を果たしていきます。

3. 議会報告会の開催は評価します。今後も続けてほしい。ただ、若い人が少ないのもっと呼びかけて年代別に開催してほしいと思います。

(回答)

開催告知を含めて、今後検討します。

4. 議会傍聴時のアンケートの取り扱いはどうされていますか。

(回答)

アンケートについては、皆様からご意見をいただいております、大変感謝申し上げます。「開かれた菊池市議会」を実践するため活用させていただいております。

5. 昨年の「洒水をよくする会」は住民も困惑しました、よい話ではありません。その総括をすべきです。議会にも責任があると思います。反対意見や違った意見の中にもよい意見はあります。議会も十分議論を尽くしてほしい。

(回答)

前向きに検討します。

6. 地域の問題の掘り起こしを誰が行うのだろうという疑問を持っています。

議員は地元の問題をどのように把握していますか。

議員でプロジェクトチームをつくって対応してほしい。

(回答)

議員は住民とのパイプ役であり、その中で問題の把握に努めていきます。

【議会改革検討特別委員会関係】

1. 菊池市には議会の会派がありませんが、議会の効率化のためには是非、会派が必要だと思いますがどう考えていますか。

(回答)

会派については、現在、議会改革検討特別委員会で検討中です。

2. 議員に専念して生活ができるよう、また、若い人も立候補できるよう議員報酬を上げて頑張してほしい。議員活動の充実をしてほしいと思います。

(回答)

報酬については、菊池市特別職報酬等審議会に委ねます。

【総務文教常任委員会関係】

1. 菊池市連絡事務嘱託員設置規則の第2条(9)にあるような「公的募金の取りまとめについて」最高裁でも判決がでています。また、自治会で選んだ区長を市の嘱託員にして、寄付金の集金を行っていますが違法ではないのですか。(寄付は自由であるべき)

(回答)

まず、引用されている最高裁判決については、滋賀県甲賀市甲南町希望ヶ丘自治会が上告し、平成20年4月3日に棄却判決が出たものかと思いますが、この案件については自治会が区費に各種寄附金として2,000円を上乗せして徴収すると、自治会の総会で決定したことについて違法かどうかを争ったものであると認識しています。

この件については、大阪高裁では、自治会が募金を一律に徴収することは「事実上の強制で、社会的な許容限度を超えている」と指摘し、自治会の決定について「募金に対する任意の意思決定の機会を奪うもの」と述べ、原告の思想、信条の自由を侵害して民法第90条の公序良俗に違反すると判断しています。

これについては、平成20年4月8日付けの社会福祉法人中央共同募金会事

務局長から各都道府県共同募金会事務局長に宛てた通知によりますと、会員が増額に応じない場合には、生活上不可欠な自治会からの脱退を強制されたことが問題とされた判決でして、募金を含めて自治会費を集めることが違法であるとの判断を下したものではないと記述されています。

この判決は、行政に下されたものではありませんが、本市としては、この判例を重く見まして、今後は年度当初の区長協議会の総会や全体研修において、各種寄附の取りまとめについて、個人の自由を侵害しないように周知徹底を行っていきたいと考えております。

一般職の職員が寄付金の取りまとめを行うことは、地方公務員法で禁止されておりますが、区長さんは特別職の公務員でありますので、地方公務員法には反しないと判断しています。

しかし、市の嘱託員という特別職である限り、市の指導の下、業務の徹底強化を図っていきます。

2. 昨年閉校4校の資料を展示しましたが、その資料の保管場所がありません。

既存の施設でも良いので、常設で展示できる場を作ってほしい。

・閉校の資料については、今度建設される図書館に展示コーナーを要望します。

(回答)

4校の資料の保管場所については、今のところ保管場所を確保する考えはありません。しかし、学校があったという歴史は残す必要があると思いますので、写真や、その当時のもので必要があれば、デジタル化し残すということはできると考えます。

それを図書館に収蔵し、見たい人がいつでも見られるようにすることで、保管場所を考えずに要望に応えられるのではと思います。

また、昨年閉校した4校だけでなく、これまでに、閉校された学校は他にもあるので、そういった資料も併せて編集し未来に残すことは可能です。

図書館に、展示スペースは確保する予定ではありますが、多くの人に利用していただくスペースとして考えていますので短期間であれば対応できますが常設はできないと考えます。

3. 菊池市は5万1,000人の人口に職員は500名、合志市は5万7,000人の人口に職員は300名ですが、この差をどう考えますか。

(回答)

毎年、総務省の調査が実施されており、市町村別、人口及び産業構造別にグループ分けを行い職員数の比較が行われています。

菊池市と合志市とは、グループが異なり、1次・2次・3次産業等の割合や

病院等の組織の違いや市域の違い（面積）を考慮しますと、その開きは少ないと考えます。

4. 学校給食の共同調理場が建設されることを資料で初めて知りましたが、材料の供給において議会は地産地消を強く考えているのでしょうか。

(回答)

地域食材の活用は、教育委員会としても積極的にすすめているところです。地場産物の活用については、毎年、2回、6月と11月に県において「食育推進に関する調査」を行っているところです。

地場産物の活用の調査については、県費栄養職員を配置している学校・給食センターのみの調査となりますが、平成24年度の実績で申し上げますと、熊本県が目標とします地産地消率は、品目数として50%であり、実績率も同じ50%となり、熊本県としましても初めて目標に達成したところです。菊池市の実績としましても53.5%と県地産地消率の目標数値を超えているところです。

また、本年6月に実施しました平成25年度前半の結果としては、菊池市の実績は60.6%と大きく目標を上回ったところです。調査内容にはありませんが、菊池市産のみの活用率は、33.2%となっています。

食材納入業者の決定は、給食用物資（食材）の購入や給食の内容及び配給に関する事項、給食費の審議決定と徴収及び会計に関する事項などを関係小中学校の保護者代表者等で構成します学校給食運営委員会にて審議いただいて決定することとなります。

今後、教育委員会としましても菊池市産の農畜産物を多く取り入れていただきますよう引き続きお願いして参りたいと思います。

議会としても執行部に強く要望しました。

5. 婚活のふれあい会のスタッフになって気づいたことで、参加を知り合いにお願いしてまわりますが参加者が少ないと思います。参加者の増加について市の職員、議員にも協力してほしい。

(回答)

今年度は、登録制にして募集していますが少ない状況ですので、他地域で活動されている団体との連携を図っていきます。

6. インターネットでの議会中継について、新しくアップしたらトピックスにして、スムーズに見られるようにしてほしい。

・議会中継で何の事をしゃべっているのかよくわかりません。コメントを入れ

るなり工夫をしてほしい。

・ホームページのイベント情報がわかりづらい、市民以外の方に情報がわかりやすくなるようにしてほしい。ホームページの中身の改善をしてほしい。

(回答)

議会中継については、例えば一般質問の日程や内容をトップページに掲載するなど分かりやすくするために担当課と調整を行います。また、ホームページについては、本年度リニューアルを進めているところです。

【福祉厚生常任委員会関係】

1. 少子高齢化対策について、民生委員1人が2～3行政区を担当して厳しい状況です。

(回答)

民生委員の人数は、民生委員協議会連合会と協議しながら進めています。増員になれば、担当地区の変更も考えられますので、関係区長との協議が必要となります。

2. 高齢者見守りネットワークの説明はありましたが、住民へ浸透していません。対策はどうしますか。

(回答)

地域包括支援センターだよりを発行して、市民の皆さんにも地域での見守りの目を持っていただけるようお願いし、高齢者を地域で支えていく意識の醸成を図っていきます。

3. RDF 施設延長の問題で地元の理解を得る必要があるなら総力を挙げて努力してほしい。

(回答)

市と市議会が総力を上げて進めていきます。

・菊池環境保全組合のごみ処理問題について、いろいろ議論されたと思いますが、その後の進捗はどうなっていますか。菊池市全体で取り組みをされますか、もしされなければRDFは15年で廃止になっていますが、その辺の考え方についてお尋ねします。

(回答)

機会あるごとに、菊池市全域加入をお願いしています。

4. 防災行政無線デジタル整備事業の主な論点で、市内全域戸別受信機の設置を行う必要があるという意見であるが、これは行うようにするのですか。現在の状況では、全然聞こえませんので、全員に行きわたっていません。その処置をどのようにするか考えてほしい。

(回答)

戸別受信機を市内全戸に設置しますと、約8億程度が必要です。補助対象とならないため、財政状況を考えれば厳しいと考えます。今後、有利な補助金があった場合は検討します。

・防災無線のデジタル化について、戸別受信機の設置は含まれていないとのことですが、10億4,000万円の内容はどうなっていますか。

(回答)

親局（本庁）、中継局、FWA局（総合支所）、再送信子局、屋外拡声子局、難聴地域の戸別受信機等の整備となっています。

5. 介護の砂漠化—介護を受ける人は増えて、介護に携わる人は少ない。

(回答)

介護人材の確保は重要な問題と認識しています。国や県と連携して介護人材確保に向けた取り組みを支援していきたいと考えます。

6. 人口減少の問題ですが、議会として人口増加へのこれからの考え方や努力、取り組みなどを聞かせてほしい。

(回答)

他市に先駆けて、中学3年生まで医療費の助成を行っています。子育てと仕事の両立のための様々な子育て支援により、安心して子どもを産み育てることのできるまちづくりに努めています。

7. 生活保護扶助費を国は減額するとしていますが、それを見越した予算の考え方はどうなっていますか。また、対象になる若い人たちのケア・対応についてはどうするのですか。

(回答)

現時点での予算措置は考えておりません。10月から始まる生活困窮者自立促進支援モデル事業を活用したいと考えています。

8. 朝夕の早め点灯をするように対策をしてほしい。

(回答)

交通安全パトロール車の広報で呼びかけを行うようにしています。

9. 選挙で子育て支援を言われていますが、出産祝金を50万位にすれば、他市町村から移り住む人もいないのでしょうか。

(回答)

少子化対策としての効果や財政的なことを含めて考えますと50万円を支給することは考えていません。新たに始まる、子ども子育て支援新制度を踏まえ、菊池市に住みたいと思えるような施策に努めていきます。

【経済建設常任委員会関係】

1. TPP交渉参加の撤回を求める意見書を出してあるが、すでに政府は交渉を進めており、議会として意見書提出後の対応はどのようなことをしているのか。

(回答)

熊本県北議長会で県知事に交渉途中でも不利益が生じてきたら撤回するよう要望している。国や国会議員にも同様の要望を出している。

2. ポケットパーク足湯ができましたが、管理費や利用率などの報告もないし、利用されていないと思っています。どういう経緯での建設であったのですか。・費用対効果を知りたい。1日に何人利用しているのですか。それは公表(広報等により)すべきではないでしょうか。

(回答)

平成18年度に都市再生整備計画案作成、住民ワークショップ等を経て、平成19年度に限府中央地区都市再生整備計画作成、その中でポケットパーク案が提案されました。平成20年度に用地取得、その他事業を含め都市再生整備事業を着手、平成22年度に実施設計、平成23年度に整備工事を行いました。

また、横町・切明2箇所のポケットパークの維持管理費は、平成24年度の実績で約250万円ほどでした。内訳は、清掃管理委託費、電気代、水道代、下水道代となっています。

一日あたりの使用人数は把握しておりませんが、夏場の子ども達の水に浸かって遊ぶ場面や、中・高校生の語らいの場面、冬場での高齢者のくつろいだ場面など確認しています。

費用対効果については、単にその場所を利用する人数、回数のみならず、その存在がまちに与える効果など複合的に判断すべきであると考えています。

今後は、この公園の市民の皆様への周知と森のまちプロジェクトなどの新た

な事業と組み合わせ、このポケットパークを最大限に活用し、その効果をさらに作り出していきたいと考えています。

3. 市長は、桜に力を入れておられるが、旭志の「湯舟の堤（ため池）」を公園化して桜を植えるなどの調査をしてほしい。

(回答)

地権者の了承を得た場合で、豊かな自然を壊さない範囲での桜の植栽は可能と考えています。残念ながら現在以上の公園化計画はありません。

4. 田島工業団地の現在の状況はどうなっていますか。太陽光発電施設設置はどうなったのですか。

(回答)

田島工業団地は、平成 13 年度に完了して、現在まで 11 年が経過したところ。この間、数社との協議の中で、誘致寸前まで交渉が進んだケースはありましたが、最終的には地盤の問題や地下水の問題などで、残念ながら現在まで企業の進出には至っていない状況です。

また、太陽光発電施設設置（メガソーラー）については、数社より建設の申し入れがありましたが、企業誘致本来の目的である雇用の場の確保や地域経済への波及効果などが見込まれないということで、現在、太陽光発電施設設置の問い合わせについては、交渉を控えているところです。

今後の展開については、情報収集に努めるとともに、最近、設備投資を急増させている物流業界を含め、自動車、半導体関連企業などの製造業を中心に積極的に PR 活動を行いながら、優良企業の誘致に取り組んでまいります。

5. ブランド推進事業とは PR 活動の財源なのでしょうか。PR も大事ですがそれに見合う商品を作らなくてはダメだと思います。設備を整えて温度を下げることをやりたいが資金が必要です。低額の施設、中古のハウスなどの施設には国の補助がありません。市からの助成などはありませんか。PR だけでなく、いい品物を作るための予算はないのでしょうか。

(回答)

ブランド推進事業については、PR 活動の予算だけではなく、農産物や加工品の販路拡大の商談会開催費用や商品開発等に関する補助として、農産物の成分分析費、製品パッケージのデザイン等の補助があります。

中古ハウスの施設整備の補助については、現在、補助制度を設けていません。

農林施設整備については、農林振興課が窓口となりますので、お気軽にご相談下さい。

6. 花房台基盤整備について、農高前の排水溝の工事で長期間通行止めとなっ
ていますが、住民に説明されていません。換地委員にも説明がありません。

(回答)

花房台地区生活雨水排水工事に着手する前に周辺の区長や隣接の事業所数社に説明をしておりましたが、十分な説明、情報が行き届いておらずご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。

今後の工事では、今回の件を反省しさらなる周知の徹底を行う対応を図ります。今後ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

7. さくらシンポジウムは来年ということで25年度に予算を組んでありますが、
もっと計画的に長い目で整備していくべきだと思います。

(回答)

さくらシンポジウムは菊池観光協会が中心となって実行委員会を立ち上げ、準備を進められています。協会においては、市内各地域の桜を市民憩いの場所、観光名所、観光資源とするため、「市民による桜の里づくり」を目指して、「菊池さくら基金」「さくらサポーター」の制度も創設し、将来にわたって桜の育成、保護活動に取り組まれています。本市においても「癒しの里づくりによる観光戦略」の長期プロジェクトのひとつに「日本一のさくらの里」を掲げ、着手しており、このプロジェクトは、将来にわたって、市民の皆様とともに計画的に整備していくものと認識しています。

さくらシンポジウムは、市民の皆様による桜の里づくりを、将来にわたって協働して進めていくことをアピールする絶好の機会であると捉えています。

8. 小規模零細企業が疲弊しています。手助けする方法はありませんか。
情報の橋渡しが無いと思います、ヒントを与えるチャンスがないのでしょ
うか。

(回答)

現在、市が個人商店を含む中小企業振興の施策は次のようなものがあります。

「中小企業振興基本条例」の制定

平成19年度に制定された本条例により、中小企業者の育成及び健全な発展を促進するため、市が発注する公共工事や物品の購入など、極力地元企業での対応や発注機会の増大に努めているところです。

「中小企業近代化等資金利子補給補助事業」

経営の近代化または経営基盤の強化を図るため、中小企業者が必要とする資金の融資を金融機関から受けた場合、その利子を補給しています。

「中小企業信用保証料補助事業」

中小企業の負担の軽減及び金融の円滑化を図ることを目的として、中小企業融資制度による融資を受ける中小企業者が、熊本県信用保証協会に支払う信用保証料を補助しています。

「中小企業後継者育成対策事業」

後継者の新規就業または結婚の際に助成を実施しています。

菊池市融資制度（中小企業の資金調達の円滑化）

中小企業経営安定資金融資事業、中小企業小口資金保証制度事業、中小企業無担保無保証人融資事業

※セーフティネット保証制度による認定業務

その他、市内共通商品券「めぐるん券」の発行による市外への消費流出の歯止め策や、市内業者の施工による住宅・店舗の新築または改築によるリフォームに関する助成、工場設置奨励条例に伴う適用工場の指定による固定資産税の課税免除などを行っています。

また、中小企業に関する情報の提供は、時期を捉えて、市の広報やホームページ等を活用した情報提供を行っています。

商工会でも個別訪問を含め、商業や中小企業に対する経営指導や各種融資等に関する業務を実施しており、今後も市と商工会が連携して、中小企業に対する振興策を講じてまいります。

【議会広報特別委員会関係】

1. 議会だよりは、写真が多くて議員の宣伝になっていませんか。

(回答)

写真を多く掲載する目的は、臨場感あふれる豊かな紙面とするためです。一般質問の議員写真については、その質問に対して議員が責任を持つという意味もあります。

平成25年度 菊池市議会報告会アンケート結果

【全体集計】 参加者 191名 アンケート141名（提出率73.8%）

【年 齢】	人数	【居住地】	人数	【開催情報入手】 <small>(複数回答)</small>	人数
20代 (0.7%)	1	菊池 (45.4%)	64	広報きくち (15.7%)	25
30代 (0.7%)	1	七城 (9.9%)	14	議会だより (21.4%)	34
40代 (5.0%)	7	旭志 (12.8%)	18	ホームページ(6.9%)	11
50代 (17.0%)	24	泗水 (22.7%)	32	区長文書 (31.4%)	50
60代 (51.1%)	72	以外 (7.1%)	10	知人から (3.8%)	6
70代以上(25.5%)	36	記入なし(2.1%)	3	議員から (11.9%)	19
計	141	計	141	その他 新聞等(8.8%)	14
				計	159

【説明内容】	人数	【説明時間】	人数	【報告会評価】	人数
わかりやすかった (50.3%)	67	短すぎた (20.8%)	26	良かった (71.4%)	97
わかりにくかった (8.3%)	11	長すぎた (4.0%)	5	どちらとも言えない (25.7%)	35
どちらとも言えない (41.4%)	55	ちょうどよかった (75.2%)	94	良くなかった (2.9%)	4
計	133	計	125	計	136

(記入のない項目があるため計は一致しません)

【意見・感想等】

アンケートの中から市議会へのご意見・ご感想を掲載します。

- ・ 今後も継続して開催してほしい。
- ・ 住民への周知徹底を、参加者が少ない。
- ・ 人口減少にあり、議会において人口増加への努力と考え方、これからの取り組みを聞きたい。
- ・ 議員全員の出席ということで、菊池市の熱い熱意が感じられた。
- ・ 自己満足の議会報告会ではどうしようもない。住民との対話をどう生かすか。
- ・ 菊池市議会が先進的取り組みを行って、熊本県の議会政治を引っ張ってほしい。
- ・ 質問、意見については事前受付が必要でなかったか。
- ・ 多くの人に発言の機会を設けるよう意見は2分以内で進行してほしい。
- ・ 問題意識をもって議員としてつとめを果たすべきと考える。

- ・ 議会で足の引っ張りあいともとれることがあるように思う。もっと未来志向の議会になってほしい。
- ・ 初回ということで質問も答弁もスムーズにいかなかった。
- ・ 議員は勉強して、菊池市のリーダーとの意思を強く持って市民を引っ張ってほしい。
- ・ 議員も勉強になったと思うし、市民も身近に感じられた。
- ・ 旧市町村にこだわらず、良いまちになるよう力を使ってほしい。